



長岡国道事務所からTEC-FORCEを派遣しました

7月12日～19日まで平成30年7月豪雨における被災地支援のため、中国地方整備局管内へ、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)1班4名を派遣しました。

長岡国道事務所は、道路班として土砂災害や河川の氾濫などの被害を受けた広島県内において道路被災状況調査を行いました。

7月13日～15日、広島県東広島市内において入野地区・大矢地区・鏡山地区・山陽道側道(八本松トンネル～西条トンネル)の道路被災状況調査を行いました。

7月16日～17日、広島県呉市内において安浦町及び川尻町の道路被災状況調査を行いました。

7月18日、中国地方整備局にて調査結果の取りまとめ、報告及び後任のTEC-FORCE道路班への引き継ぎを行い、7月19日に長岡国道事務所に帰還しました。

長岡国道事務所では、被災地域の一日も早い復旧・復興を願っております。

【防災情報課】



【出発式の様子】



【東広島市での調査箇所打合せ】



【土石流による土砂堆積】



【土石流による土砂堆積】



【道路陥没・段差発生】



【土石流による土砂堆積】

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-36-4582



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

ちよーこく 検索

携帯版

スマホ版



災害用通信機器設営実習

～新潟県央工業高校・柏崎工業高校～

災害時に地域から必要とされる防災技術者の育成を目的に、新潟県央工業高校及び柏崎工業高校で災害用通信機器設営実習を実施しました。

最初に教室にて概要説明を行った後、屋外で実習を行いました。屋外実習では通信衛星可搬局(Ku-SAT II)と衛星携帯電話(ドコモ ワイドスター II)の設営や映像、音声の送受信を行いました。

普段見ることの無い災害用通信機器に触れて、生徒からは貴重な体験をしたとの声を頂きました。

【防災情報課】

《7月5日(木) 新潟県央工業高校》

建設工学科都市防災コース3年生21人が参加しました。新潟県央工業高校での無線実習は今年が初めてのことです。



(Ku-SAT II の設営)

《7月11日(水) 柏崎工業高校》

電気科防災エンジニアコース3年生29人が参加しました。柏崎工業高校での無線実習は今年で8回目となります。



(教室での概要説明)

(Ku-SAT II の衛星補足)

(Ku-SAT II での通話)

塩沢商工高校生が橋梁点検実習を体験

塩沢商工高等学校3年生が、南魚沼市の国道17号「伊田川橋」で橋梁点検実習を行いました。この実習は将来のインフラ老朽化対策を担う人材育成を目的とし、平成28年度から継続して実施しています。

当日は座学で橋梁のメンテナンスサイクル等を学び、実際の橋で損傷を直接見て点検し、またそれを発表することにより、老朽化に対する理解をより深めて貰いました。

生徒からは、「普段橋の下を見ることがなかったが、思わぬところで老朽化が進んでいて驚いた」、「(打音検査で)たたく場所により打音に高低があることを知った」などの感想を述べるなど、熱心に実習に取り組んでいたことが感じられ、未来を担う技術者にとって貴重な経験になったと思います。

【管理第二課】

【実施概要】

日時：平成30年7月9日（月） 12時50分～15時30分

対象：塩沢商工高等学校 機械システム科 3年生15名

行程：1) 12時50分～13時10分（高校内で講義）

2) 13時30分～14時30分（伊田川橋で橋梁点検実習）

3) 14時50分～15時30分（高校内で点検結果報告）



打音検査で浮きの有無を確認



点検結果を報告して頂きました

地元中学生が道路管理の現場を職場体験

7月10日から12日の3日間、長岡市立東北中学校の生徒2年生2名が、職場体験として道路管理の現場を体験しました。

職場体験の3日間には、情報管理室、道路工事現場の見学や道路パトロール、橋梁点検、橋梁塗替工事などの作業を体験しました。

この職場体験が、将来の進路を考えるきっかけになれば幸いです。

【長岡維持出張所】



情報管理室の機器等の説明



道路パトロールの説明



国道17号十日町高架橋(下り)の橋梁点検作業を体験

塩沢商工高校生がICT土工工事現場を体験

7月10日、新潟県立塩沢商工高等学校の2年生(機械システム科土木選択)16名が国道17号六日町バイパスのICT土工による工事現場を見学しました。

この見学会は、長岡国道事務所、南魚沼建設業協会と塩沢商工高等学校のタイアップにより、地元建設業界の担い手育成のために実施しているものです。

当日は、当事務所から六日町バイパス事業及び工事内容の説明。施工者からICT土工の概略説明を受けた後、30度を超す猛暑の中でICT機器を搭載したブルドーザー、タイヤローラーに乗り込みICT土工を体験しました。多くの生徒さんに建設業の魅力を伝えることができたと感じました。

【六日町国道出張所】



現場事務所内で事業内容・ICT土工について説明



猛暑の中、施工者からの説明に耳を傾ける



ブルドーザーに乗り込みICT機器について説明



転圧機械に乗り込み、実際のICT土工を体験

優良工事等の表彰式を行いました

7月30日、優良工事等の事務所長表彰式が長岡国道事務所にて執り行われました。

※受賞者は別紙記者発表のとおり

http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/file/180725_yuuryoukouji.pdf

平成29年度に完成した工事67件、委託業務52件の中から工事の施工や業務の成果等を考慮し、優良工事の部門で7件の工事及び2名の優良建設技術者が受賞者として選定されました。

優良委託業務の部門では2件の業務及び2名の優良建設技術者が受賞者として選定されました。

北陸地方整備局長表彰者も含め、12社29名の会社関係者及び受賞者個人に御列席していただき、星野事務所長より表彰状の授与と、併せて7月20日に執り行われた局長表彰の披露が行われました。

その後、受賞者を代表して株式会社村山土建の代表取締役社長村山政文様より「地域住民の皆様の安全、安心な暮らしを実現するため、建設現場においても働きやすい職場環境を整備し、今後も事故防止に努めつつ、技術を研鑽し生産性の向上、品質の向上に努めていきたい」との謝辞をいただきました。



記念撮影後に開催した懇談会では、受賞対象となった工事及び業務について、各社及び受賞者個人の方から、従事した工事・業務の苦労した点や創意工夫などについて意見交換しました。
【総務課】